

国土の気候と地形① (教科書 20~27 ページ) **解答**

氏名()

①教科書 20・21 ページの **ア**~**キ** の資料からいくつかを選び、**地域**によって気候にどのようなちがいがあるかを書きましょう。

使った資料	地域による気候のちがい
【例】アとイ	同じ3月でも、 小笠原 の海には氷がないが、 知床 の海には氷がたくさんある。気温がちがうからだと思う。
ウとキ	(例) 小笠原と知床の気温は全然違う。小笠原は南にあるが、知床は北にあるからだと思う。
エ	(例) 桜がさくのは、沖縄は1月で北海道は5月。日本は南北に長く、あたたかくなる時期がちがうからだと思う。
カとキ	(例) 知床と奥日光ははなれているのに、気温が似ている。奥日光は山にあるから、気温が低いのもかもしれない。

②上に書いたような気候のちがいが生まれるのは、なぜだと思いますか。

(例) 日本の国土は南北に長いから、地域によってあたたかさがちがうのだと思う。

(例) 土地の高さも気候に関係があると思う。

③教科書 22・23 ページを読みながら答えましょう。

○海面を0mとして測ったときの陸地の高さを **標高** といいます。

○山が集まったところを **山地** といい、山が列のように連なっ

たところを **山脈** といいます。

○海に面した平地(平らな土地)を **平野** といい、山に囲まれた

平地を **盆地** といいます。

○標高の高い土地を**高地**、標高の低い土地を**低地**といいます。

○標高が高いところは低いところよりも、気温が **低く** なります。

④日本の地形はどのような特色があるでしょうか。「山地」「平野」などの言葉を使って表しましょう。

- ・山地が多い。
- ・高い山脈は**中部**地方に多く、日本の屋根と呼ばれる。
- ・もっとも広い平野は**関東**平野。
- ・島が多い。

など

国土の気候と地形② (教科書 20~27 ページ) 解答

氏名()

①教科書 24・25 ページの文章を読んで答えましょう。

○雨や雪のふる量を **降水量** といいます。

○日本各地の気候を比べると **気温** や **降水量** がちがいます。

同じ地域でも、月によって気温や降水量がちがうため、 **四季**

(春夏秋冬) の変化が見られます。

○6月から7月にかけて、北海道以外の地域では **梅雨** があり、

夏から秋にかけては **台風** が多くやってくるので、降水量が多くなります。

○季節によって日本の国土にふく風の方向が変わります。この風を **季節風**

といます。季節風と、日本の中央に連なる **山地** のえいきょうで、

冬には **日本海** 側で雪が多くふり、 **太平洋** 側では

乾燥した晴天の日が続きます。

②教科書 24 ページのグラフを見て日本各地の気候の特色を書きましょう。

	気温	降水量
東京都 千代田区	夏の気温が高い。	秋に雨が多く、冬は少ない。
岐阜県 白川村	冬の気温が低い。	冬と7月の降水量が多い。
鹿児島県 奄美市	一年中、気温が高い。 冬でもあたたかい。	一年中雨が多く、特に6月に多い。
香川県 高松市	夏の気温が高い。	一年中、雨が少ない。
長野県 松本市	冬の気温が低い。	一年中、雨が少ない。
北海道 稚内市	一年中、気温が低い。 夏でもすずしい。	一年中、雨が少ない。

③これまでの学習を生かして、下の表を完成させよう。

	気候の特色	関係している条件
知床	冬の気温が低い。夏でもすずしい。	北に位置している。
小笠原 諸島	一年中、気温が高い。冬でもあたたかい。	南に位置している。
奥日光	冬の気温が低い。夏でもすずしい。	標高が高い。
白川郷	冬の気温が低く、雪が多くふる。	標高が高い。冬の季節風が山地にぶつかる。
東京	夏はむし暑い。秋に雨が多く、冬は少ない。	夏の季節風が山地にぶつかる。台風が来る。

国土の気候と地形③ 解答 氏名 ()

(教科書 20～27 ページ)

- ①教科書 26 ページのように、山脈や山地をマーカーでかいたり、地形や気候の特色をふせんに書いてはったりしましょう。ふせんがなければ、直接書きこみましょう。



- ②日本の気候と地形について、文章にまとめよう。 (例)

日本の各地の気候にちがいがあるのは、日本の国土が南北に長く、中央に山地が連なっていることや、梅雨や台風、季節風などのえいきょうを受けているからだ。